

CLAIR トピックス

——最近のクレアの動きや所管国の状況等を
短くまとめて紹介します



ロンドン事務所

JETAA-UK 年次総会が開催されました

3月13日、JETプログラム終了者親睦団体であるJETAAの英国内支部が一同に会して事業・決算報告や役員選挙などを行うJETAA-UK年次総会が開催されました。初めてオンラインでの開催となりましたが、30名超が出席し、活発な議論が行われました。

会の冒頭では、国内の各支部から今年度実施された交流イベントなどに関する活動報告が行われ、新型コロナウイルスの影響を受けながらも各支部で活発な活動が行われたことが共有されました。また、昨年に引き続き、イギリス、アイルランドに留学しているアフリカの遺児へのサポートなどを行っているあしなが育英会への寄付を募るチャリティーイベントを開催することも承認されました。そのほか、オンラインで交流を行うときに活用することのできる、参加者が同じ映画を見ることができるツールや、参加者がゲームの登場人物のようなアバターになって自由に動きまわりながら交流ができるオンライン会議サービスについての紹介も行われたため、今後の交流がより魅力的なものになることが期待されます。

昨年10月にクレアロンドン事務所主催で実施したキャリアフェアについても振り返りが行われました。参加者数やページのビュー数など、オンライン開催であったからこそ知ることのできる詳細な参加者の動きについて説明され、多くの参加者が積極的に参加していたことがわかりました。

また、休憩時間にはクレアロンドン事務所が開設予定のInstagramのアカウント名のコンテストが行われるなど、インタラクティブな会となりました。

引き続きJLGCロンドンはJETAAの支援を通して、元JETプログラム参加者同士の活発な交流を支えていきたいと考えています。



JETAA-UK の Facebook ページでの告知



シドニー事務所

鴻巣市の原口市長から預かった書簡をザ・ヒルズシャイア市長にお渡し！

2020年12月21日、埼玉県鴻巣市から派遣されているクレアシドニー事務所職員がザ・ヒルズシャイア市を表敬訪問し、ミシェル・バーン市長等と面会しました。

ザ・ヒルズシャイア市は、シドニー近郊に位置し、人口は17万9,000人で、南部の市街地と北部の自然豊かな地域から成る街です。2019年に同市内に地下鉄が6駅開通したこともあり、自然と調和したさらなる開発と人口増加が見込まれています。

埼玉県鴻巣市は、2007年からザ・ヒルズシャイア市内のボーカムヒルズ高校（日本の中学校・高校に相当）と中学生派遣交流を継続しており、2019年7月には鴻巣市の原口市長が同市を訪問するなど、両市は10年以上にわたる友好関係を有しています。

今回、埼玉県鴻巣市から派遣されている職員がバーン市長等と面会し、ザ・ヒルズシャイア市と鴻巣市の交流のあり方や、新型コロナウイルス対策の現状について意見交換を行いました。

面会後には、鴻巣市からの派遣職員が同市から預かった書簡および伝統工芸品をバーン市長にお渡しし、ザ・ヒルズシャイア市と同市との友好関係の進展をお願いしました。

2036年には人口が29万人に達するともいわれるザ・ヒルズシャイア市と鴻巣市の間の友好交流が今後も活発に行われ、良好な関係が今後も継続するよう、クレアシドニー事務所としても引き続き尽力していきます。



鴻巣市の原口市長から預かった書簡をザ・ヒルズシャイア市長（左）にお渡しするクレアシドニー事務所職員（右）



市庁舎入口の様子



ソウル事務所

富山県の「食」をテーマに魅力を発信！オンライン料理教室を開催

2月4日、フレアソウル事務所と料理教室 ABC Cooking Studio KOREA 社（以下 ABC 社）の共催で、富山県の「食」をテーマとしたインバウンド促進イベントをオンラインで開催しました。

この事業は、日本の地域の認知度向上を図ることを目的に、2016 年から ABC 社と連携して行っているもので、今回は新型コロナウイルス感染拡大のため、初めてオンラインレッスンの形で開催しました。

当日は、韓国人 27 名が各々の自宅から料理教室に参加しました。今回のメニューは、まず寿司とカニグラタンで、食材や自治体 PR 資料は事前に自宅に配送しました。初めに職員が富山県の PR を行った後、オンライン料理教室を実施しました。講師の丁寧な指導とともに、参加者も随時質問をするなど、双方向のやりとりが見られました。

新型コロナウイルス感染拡大の中、今までとは違う形の開催となりましたが、参加者の満足度は高く、今後も「食」を通じた日本の地域の魅力発信に努めてまいります。



オンラインで料理指導



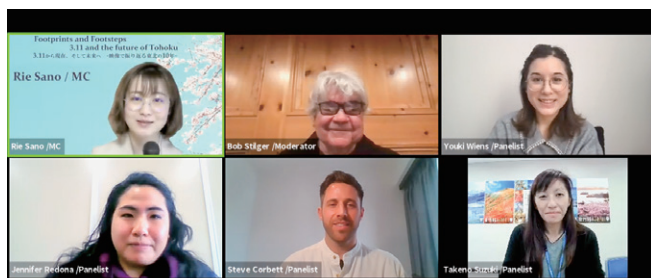
完成した料理



ニューヨーク事務所

3.11 から現在、そして未来へ —映像で振り返る東北の 10 年—

3月5日から11日にかけて、東日本大震災のドキュメンタリー上映とパネルディスカッションのイベントを、多くの JET プログラム関係者の協力・参加を得て開催しました。世界中から延べ約 1,500 名の参加申込みがあり、参加者からは「東北についてより深く知り、人々がいかに生活を再建しようとしているかを学べる素晴らしい機会だった」との声が聞かれました。震災から 10 年の復興の歩みや海外からの支援が果たした多大な貢献を振り返り、ともに未来を語り合う有意義な場となりました。



岩手・宮城・福島国際交流員、元外国語指導助手と東北の未来を考えるパネルディスカッション

COVID-19 に関する取締り

米国各地においては、国・州外からの移動者への隔離要請やレストランの客数制限、公の場でのマスク着用義務などさまざまな罰則付きの規則が設けられています。ワクチン接種が遅れている病院に対してまで罰則を設けるニューヨーク州など、ここまでやるのかと驚かされますが、蔓延を抑えたいという必死さがうかがえます。

実際に取締りも行われています。レストランの違法営業や隔離義務に従わない陽性者に対し、罰金や酒類提供ライセンスの停止、場合によっては禁固などのペナルティーが科され、地元警察が動いています。詳しくは下記ホームページをご覧ください。

<https://www.jlgc.org/ja/01-25-2021/9127/>



トンネルにおける検問所



シンガポール事務所

インドネシアの自治体職員などを対象としたセミナーを開催

2月25日、シンガポール事務所と MOU（覚書）を締結するインドネシア内務省主催のオンラインセミナーにおいて、インドネシアの自治体職員などを対象に、山口県と東京都台東区が「コロナ禍における地域経済および観光復興」をテーマとした講義を行いました。

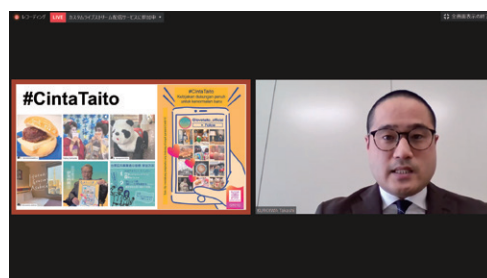
山口県からは、購入型クラウドファンディングを活用した支援策「頑張るお店応援プロジェクト」について、導入の経緯、工夫した点や目標と取組状況など、クラウドファンディングの仕組みも踏まえながら丁寧な説明がありました。

台東区からは、区内観光事業者の支援および観光振興施策として、飲食店テイクアウトなどの応援や、インスタグラムを活用して情報発信する「#たいう愛」キャンペーン、GoTo トラベルによる誘客を目指した旅行商品造成商談会など、さまざまな取り組みについて紹介がありました。

リアルタイムで約 500 人が視聴した講義では活発な質疑応答が行われ、共通の課題を抱えるインドネシアの自治体の関心の高さがうかがえました。



経済復興の取り組みについて説明する山口県の職員



観光復興の取り組みについて説明する台東区の職員



北京事務所

料理体験を通じた日本の魅力発信事業を実施しました

クレア北京事務所では、2017年度から、ABC Cooking Studio 中国法人（ABC）と連携し「料理体験を通じた日本の魅力発信事業」を実施しています。2020年度は過去最多となる6自治体と協力し、中国各地のABC教室で自治体の観光PRや郷土料理の調理体験イベントを行いました。

イベントには毎回約40名のABC会員が参加し、自治体職員が行う各地の魅力の紹介に興味を示す姿や、その土地ならではの美食の調理体験に熱心に取り組む様子が見られました。参加者からは「初めて知った観光名所があったので早く旅行してみたい」、「本場の郷土料理を味わってみたい」といった声が聞かれ、中国人が訪日旅行に寄せる関心と新型コロナウイルス収束後を見据えたインバウンド施策展開の必要性を強く感じました。

クレア北京事務所では、今後も引き続き自治体の観光PRを実施・支援するなど、自治体の中国での活動を幅広く支援してまいります。

【2020年度実績】

協力自治体	実施メニュー	開催日程	開催場所
石川県	治部煮など	2020年12月5日	重慶市
青森県	十和田バラ焼きなど	2020年12月19日	広東省広州市
静岡県	静岡おでんなど	2021年1月30日	浙江省杭州市
愛媛県	鯛めしなど	2021年2月27日	上海市
北九州市	鯖のめか炊きなど	2021年3月6日	広東省深セン市
熊本県	辛子れんこんなど	2021年3月13日	四川省成都市



自治体職員による魅力紹介プレゼンテーション



調理体験を楽しむイベント参加者



パリ事務所

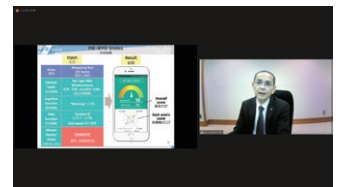
日欧地域連携ウェビナーシリーズで、ライフサイエンス分野の連携好事例を紹介

日欧間の地域産業連携を進めるため、2020年11月からアルザス欧州日本学研究所（仏コルマル）とクレアが共同で運営する「日欧地域連携ヘルプデスク」は、第3回となるウェビナーを3月17日に開催しました。テーマは「健康関連ライフサイエンスビジネスを支援する日欧マルチパートナー連携」で、大阪バイオ・ヘッドクォーターが、欧州4地域（仏オーベルニュ・ヌーヴ・アルプ州、西カタルーニャ、独バイエルン州、伊ピエモンテ州）の合同クラスターbioXclusters alliance との日欧地域連携により中小企業の国際展開支援策などに効果的に取り組み、成果を上げている様子が紹介され、日欧双方の参加者約50名が活発な意見交換を行いました。

また、同月25日に開催した第4回ウェビナーでは、「『オウルヘルス』に向けたオウル・ヘルスケア・エコシステムと『未病』に向けた神奈川ヘルスケア・ニューフロンティアとのコンセプトに基づいた地域連携」をテーマに、神奈川県とオウル市（フィンランド）の連携事例が紹介されました。5月には、日欧地域連携を考える年次会議・マッチングが予定されています。（詳しくはパリ事務所ホームページをご覧ください。）



大阪バイオ・ヘッドクォーターよりbioXclustersとの連携について発表



「未病」をコンセプトにオウル市との地域連携に取り組む神奈川県の発表



多文化共生課

地域国際化推進アドバイザー派遣制度

～オンライン・現地でも、多文化共生の推進のための研修会や講演会などの開催をクレアが支援します～

クレアでは、多文化共生や国際協力分野で専門的な知識や経験を有する有識者などを「地域国際化推進アドバイザー」として登録し、多文化共生または国際協力推進のための研修会や講演会、ワークショップなどを実施する自治体や地域国際化協会などに派遣しています。

2020年度から、新型コロナウイルス感染症の影響などにより、オンライン派遣も可能となりました。オンラインだと、距離・移動時間の制約がなくなるため、アドバイザーも派遣しやすくなります。また、オンラインに慣れていない団体についてはクレアが支援いたします。

2020年度は、58件（22件はオンライン開催）の派遣を実施し、多文化共生の概論、災害時の外国人支援、やさしい日本語などの色々な分野で助言やノウハウの提供を行いました。

まだアドバイザー派遣制度をご活用いただいたことがない団体の方も、ぜひお気軽にお問い合わせください。

◆派遣対象団体

・地方公共団体 ・地域国際化協会 ・市区町村の国際交流協会 等

◆クレアが負担する費用

・アドバイザーの往復交通費および日当
・アドバイザーの謝礼金（ただし、支払い対象時間は4時間以内）

アドバイザーや派遣実績の詳細などについては、ホームページをご覧ください。

<http://www.clair.or.jp/j/multiculture/jiam/advisor.html>



「災害時の外国対応」のオンライン派遣（山形県国際交流協会）
※アドバイザー、参加者オンライン参加



「災害時の外国対応」のオンライン派遣（鹿児島市）
※アドバイザーオンライン参加、参加者現地集合

JET プログラム事業部

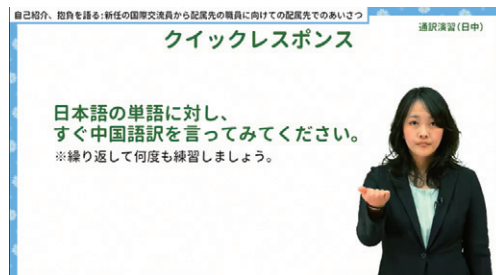
翻訳・通訳講座の通信講座の教材リニューアル！ さらにオンライン学習システムに変わります！

クレアでは、任用団体の更なる国際化に資するため、JET プログラム参加者の翻訳・通訳能力を高めることを目的として翻訳・通訳講座を実施しています。本講座は、6 か月の通信講座と5 日間の集合研修から構成され、そのうち通信講座は、これまで紙媒体のテキストを使用していましたが、2021 年度から新教材によるオンライン学習システムとして提供します。

新たな教材は、自治体ホームページや観光パンフレットの翻訳、海外の来客と自治体幹部の会話の通訳など、JET プログラム参加者などへの聞き取りから得た実例を基に作成しており、学習の成果を直接業務に活かせる内容になっています。さらに、オンライン学習システムにすることで、パソコンやタブレットなどでの学習が可能になり、利便性が向上しました。

また、本講座は通信講座と集合研修の両方を受講する必要がありましたが、2021 年度より通信講座のみでの受講が可能になるなど、今までより JET プログラム参加者が受講しやすくなっています。

年度初めに受講の御案内をする予定ですので、任用団体の担当者様には、JET プログラム参加者への周知をお願いします。



各言語のプロの講師が、翻訳・通訳に必要なスキルを教えてください！

経済交流課

令和3 年度第1 回海外経済セミナーを開催します！

令和3 年度第1 回海外経済セミナーを以下のとおり開催します。本セミナーでは、「アメリカ市場の実情と越境 EC 活用へのヒント」をテーマに、アメリカ市場の実情および越境 EC 事情に精通する講師の方々をお招きし、ご講演いただくとともに、クレアニューヨーク事務所より、ニューヨークの状況など、生の声を現地からお伝えいたします。ぜひご参加をお待ちしております。

セミナーの概要およびお申込みについては、下記 URL または QR コードよりご覧ください。

<http://economy.clair.or.jp/activity/seminar/>

【開催概要】

テ マ：アメリカ市場の実情と越境 EC 活用へのヒント

開催日時：令和3 年5 月27 日（木）10 時～12 時

開催形式：オンライン（Zoom ウェビナー）

対 象 者：自治体職員（物産、観光、中小企業支援、国際関係担当等）、各地域の輸出振興団体等

参 加 費：無料 ※事前登録制（先着順、定員 500 名）

内 容：講演 1 クレア NY 事務所 所長補佐 廣澤由貴

講演 2 JFCA（日本食文化振興協会）事務局長 二見義之 氏

講演 3 楽天株式会社 大倉エリ 氏



【お問い合わせ】

経済交流課 Tel：03-5213-1726 Mail：keishin@clair.or.jp

セミナー概要およびお申込みページへ

市民国際プラザ

市民国際プラザ ウェブサイト、情報掲示板をリニューアルしました！

市民国際プラザのウェブサイトおよび情報掲示板をリニューアルしました。

新しいサイトではプラザの活動を通じて得られた多文化共生、国際協力、SDGs などに関するさまざまな情報を皆様方にお届けしています。

情報掲示板では、多文化共生、国際協力などに関するさまざまな情報を随時募集中で、自治体、地域国際協会、国際交流協会、NGO/NPO などの皆様にご利用いただけます。

是非新しくなったサイトにご訪問ください！ また、情報掲示板をご活用ください！

新しいサイトの構成を簡単にご紹介します。

- 1) 相談したい：連携・協働に関する相談事例や相談方法についてご紹介
- 2) 連携したい：活躍する団体をインタビュー記事でご紹介
- 3) 調べたい：活動を通じて発信したさまざまな情報を掲載
- 4) 学びたい：主催セミナーの募集、報告書などを掲載

●リニューアルサイト <http://www.plaza-clair.jp/>

●リニューアル掲示板 <https://theshare.info/clairjanic/>

※掲示板利用をご希望の場合まずは上記サイトよりご登録ください。

【お問い合わせ】 Mail：international_cooperation@plaza-clair.jp

市民国際プラザ

検索

掲示板

